

■平成30年度 第1回大和市地域公共交通協議会分科会（中央林間駅まち会議） 会議録（要約）

日 時：平成31年1月21日（月） 14時00分～

会 場：大和市生涯学習センター601講習室

出席者：別紙の通り

傍聴者：なし

■報告

（1）小田急中央林間駅改良計画について

（事業者）

小田急中央林間駅改良計画について説明。

（委員）

下りホームの階段とエスカレーター工事に伴い、下りホームから南口改札への通路を一度閉鎖するとの説明があったが、閉鎖される期間は、スケジュール表に基づき1年間と考えるよいか。

（事業者）

1年間閉鎖する予定である。下りホームの既存階段を移設するためには、一度階段を含む通路を閉鎖しなければならない。そのため、閉鎖期間中、下りホームから南口改札を通過して東急線への乗り換えができなくなる。その代替として、先に東口改札を新設し、東急線へ乗り換えていただく予定である。

（委員）

階段とエスカレーター整備後は、通常通り、南口改札を利用できるものと考えて良いか。

（事業者）

そのとおりである。小田急江ノ島線中央林間駅は、東急田園都市線中央林間駅への乗り換えなど、利用者が大変多い鉄道駅である。そのため、今後の整備については、東急電鉄側をはじめ、駅部門、工事部門と密に調整しながら進めていきたい。

（会長）

閉鎖期間中、多くの利用者が道路を歩いて乗り換えをすることになるので、一般車との関係など、通行上の安全面も含め、協議しながら進めたい。

（委員）

東急田園都市線中央林間駅に改札を新設する計画はあるか。

(委員)

東急田園都市線中央林間駅の駅周辺整備に関しては、都市部門の管轄となるが、改札新設を含め、具体的な方針は決まっていないと聞いている。東急田園都市線中央林間駅に関しては、周辺道路の整備、地元からの要望、喫煙所の問題など、さまざまな調整を進めていく中で、具体的な方針が見えるものと考えている。

(委員)

南口改札への動線の閉鎖は2021年度に予定されている。あと2年しかない中、東急田園都市線においても、具体的な計画を立案していく必要があるのではないかと。

(委員)

閉鎖期間中、利用者がどのルートを通って乗り換えを行うか想定できないことに加え、通常通り南口改札を使用できるようになれば、多くの利用者が南口改札の利用に戻るものと考えられるため、東急田園都市線側に新しく改札を設置するか否か等、検討を重ねていく必要がある。

(会長)

閉鎖期間はあくまでも1年間であるので、南口改札が通常通り使用できるのであれば、当然、利用者も分散されるものとする。

(事業者)

事業者としても、そのように想定している。ただし、後ろ寄りの車両で中央林間駅に到着した利用者は、東口改札が一番近い改札となるため、一定の利用はあるものと考えている。

(会長)

情報提供であるが、喫煙所については1月末で廃止となる予定である。

(委員)

保育施設の建物は何階建てになるか。

(事業者)

1階部分は交通結節機能、2階部分に保育施設を整備し、その上を何階とするかは現在検討中である。

(委員)

東口改札が整備された後、保育施設を整備するスケジュールか。

(事業者)

そのとおりである。保育施設は最後に整備する予定。なお、保育施設を整備する敷地は、東側改札口を新設する敷地とは異なる。

(委員)

ホームのかさ上げについて、改修中のホームの使用はどのようになるか。

(事業者)

ホームの先端からアスファルトを擦り付け、徐々にかさ上げを行う予定である。

(委員)

実施時期はいつ頃か。

(事業者)

ホームドアを設置するまでに実施する予定。したがって、2019年度末頃から進めていくことを想定している。

(会長)

他にご質問がないとのことで、報告は以上とする。

■その他（連絡事項等）

(1) 今後のスケジュールについて

(事務局)

来年度上半期において、設計状況等、進捗状況を報告する場を設ける予定。会議の開催については、事業の進捗に応じ、開催時期を通知することとする。

以上